

静岡県月例経済報告

(平成28年7月号)

……平成28年5月を中心とした県内経済のすがた……

No. 483

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	13
・ 雇用面	15
・ その他	18
III 静岡県主要産業の動向	22
IV データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成28年5月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

平成28年5月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱い動きがみられる。

先行きについては、底堅い設備投資意欲などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産面での弱い動きと海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、弱い動きとなっている。
- ・ 生産は、減少傾向にある。

需要面

◎個人消費は、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。

大型小売店販売額(5月)は、百貨店が3か月連続、スーパーが6か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも6か月ぶりに前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(5月)は、家電大型専門店、ホームセンターがいずれも2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、ドラッグストアが14か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも11か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(5月)は、軽自動車は17か月連続で前年実績を下回ったものの、乗用車が2か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも2か月連続で前年実績を上回った。

◎住宅建設は、前年を下回った。

新設住宅着工戸数(5月)は、貸家が5か月連続で前年実績を上回ったものの、持家が2か月連続、分譲住宅が4か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも4か月ぶりに前年実績を下回った。

◎公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額(5月)は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成28年7月1日)の28年度設備投資計画は、製造業で増加、非製造業で減少する計画となっており、全産業では増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(5月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

◎輸出は、弱い動きとなっている。

輸入は、前年を下回った。

輸出総額(5月)は、二輪自動車類が2か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機が12か月ぶり、エアコンが5か月連続、自動車が13か月連続、自動車の部分品が10か月連続、科学光学機器が15か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額(5月)は、木材や自動車の部分品などで前年実績を下回ったことから、全体でも6か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、605億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、減少傾向にある。

鉱工業生産指数(4月)は、電気機械が3か月連続、化学が11か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械、食料品・たばこがいずれも3か月連続、輸送機械が14か月連続、パルプ・紙・紙加工品が2か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも5か月連続で前年を下回った。また、2か月連続で前月を上回った。

なお、鉱工業在庫指数(4月)は、総合では14か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率(5月)は1.35倍で、前月を0.01ポイント下回ったものの、28か月連続で1倍を上回った。また、2か月ぶりに全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員(5月)は、34か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(4月)は、前年を上回った。

その他

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年と同水準となった。

県内金融機関の貸出残高(5月)は、前年同月比2.2%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(5月)は、前年と同水準だった。

◎企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回った。

企業倒産(6月)は、件数は31件で前年同月比47.6%増となり前年実績を上回ったものの、負債総額は前年同月比40.7%減となり、前年実績を下回った。

＜＜県の取組＞＞

【 「先端的農業モデル創出事業」テーマの公募 】

県は、「先端的農業モデル創出事業」（1テーマあたり事業費上限200万円）のテーマを公募し、応募のあった8テーマを審査した結果、以下の4テーマを選出しました。

1 事業概要

この事業は、先端的な農業の推進のため、科学技術を活用した農業の生産性革新につながる先行事例（モデル）を早期に創出し、その成果を広く普及することを目的として、県内の各事業者が業務を委託するものです。

今後、各事業者が業務を実施し、平成29年3月に開催される国際フォーラムで、事業の成果を発表します。

2 選出テーマ

提案者	協力者	事業テーマ
株式会社増田採種場 (磐田市上万能168-2)	—	アブラナ科育種素材を基盤とした高機能性品種の育成選抜と育苗技術の改良
株式会社アイエイアイ (静岡市清水区尾羽577-1)	伊達潔技術士事務所	環境保全・地域資源循環型の有機農産物安定生産システムにおける大苗対応型閉鎖系育苗装置および育苗技術開発
鈴与商事株式会社 (静岡市葵区栄町1-3)	農研機構・野菜花き研究部門生産環境ユニット 農業生産法人 ベルファーム株式会社、 株式会社鈴与総合研究所	紫外線抵抗誘導技術を利用した、トマトの無農薬栽培の安定生産モデル
株式会社田丸屋本店 (静岡市駿河区下川原5-34-18)	静岡県立大学食品栄養科学部環境生命科学科 植物環境研究室	辛味成分の多いワサビの生産と栽培地拡大への取り組み

3 問い合わせ先 静岡県経済産業部農業戦略課（電話：054-221-2659）

提案者	業務責任者	電話番号
株式会社増田採種場	松下 哲也	0538-35-8822
株式会社アイエイアイ	田中 栄嗣 (エコファーム部課長代理)	054-364-5140
鈴与商事株式会社	酒井 浩伸 (アグリ事業・EMS共同研究プロジェクト)	0537-35-8877
株式会社田丸屋本店	増田 英樹 (R&D部課長)	054-258-1115

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

5 月 = 34,074百万円

*前年同月比： 1.1%減

(県内3百貨店、131スーパー合計)

<概況>

5月の大型小売店販売額は34,074百万円で、前年同月比1.1%減となり、6か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比5.1%減）が3か月連続、スーパー（同0.1%減）が6か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総合でも前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（同4.9%減）が2か月ぶり、身の回り品（同5.7%減）が3か月連続、飲食料品（同0.3%減）が14か月ぶり、家庭用品（同3.8%減）が3か月連続で、いずれも前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.3%減となり、5か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
販売額(百万円)	34,291	33,803	42,800	37,052	32,077	34,394	32,936	34,074
前年同月比(%)	4.4	▲1.3	0.2	1.8	3.5	0.5	1.0	▲1.1
うち百貨店(%)	7.7	▲3.9	▲1.5	▲0.8	2.0	▲1.4	▲2.5	▲5.1
スーパー(%)	3.6	▲0.6	0.7	2.5	3.8	1.1	1.9	▲0.1
(参考1)全国前年同月比(%)	2.9	▲1.5	0.0	1.0	2.2	▲1.2	▲0.7	▲2.2
うち百貨店(%)	4.2	▲2.6	0.3	▲1.5	0.5	▲2.8	▲3.6	▲4.8
スーパー(%)	2.3	▲0.9	▲0.2	2.4	3.1	▲0.3	0.8	▲0.8
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	3.0	▲2.6	▲0.4	2.4	4.8	0.5	0.1	▲1.3

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
衣料品	5.5	▲8.0	▲5.2	▲1.2	2.2	▲2.8	1.8	▲4.9
うち紳士服・洋品	5.4	▲9.0	▲7.8	▲2.1	5.9	1.5	4.5	2.7
婦人・子供服・洋品	5.0	▲7.7	▲3.6	▲1.6	0.0	▲4.7	0.9	▲7.5
身の回り品	8.5	▲6.6	▲2.0	1.1	0.2	▲3.6	▲4.9	▲5.7
飲食料品	3.7	0.8	2.2	3.1	4.3	1.8	1.7	▲0.3
家庭用品	8.5	▲0.1	0.3	6.4	6.8	▲5.7	▲11.2	▲3.8
うち家庭用電気機械器具	13.9	9.1	29.1	37.6	18.7	▲8.2	▲1.4	2.1

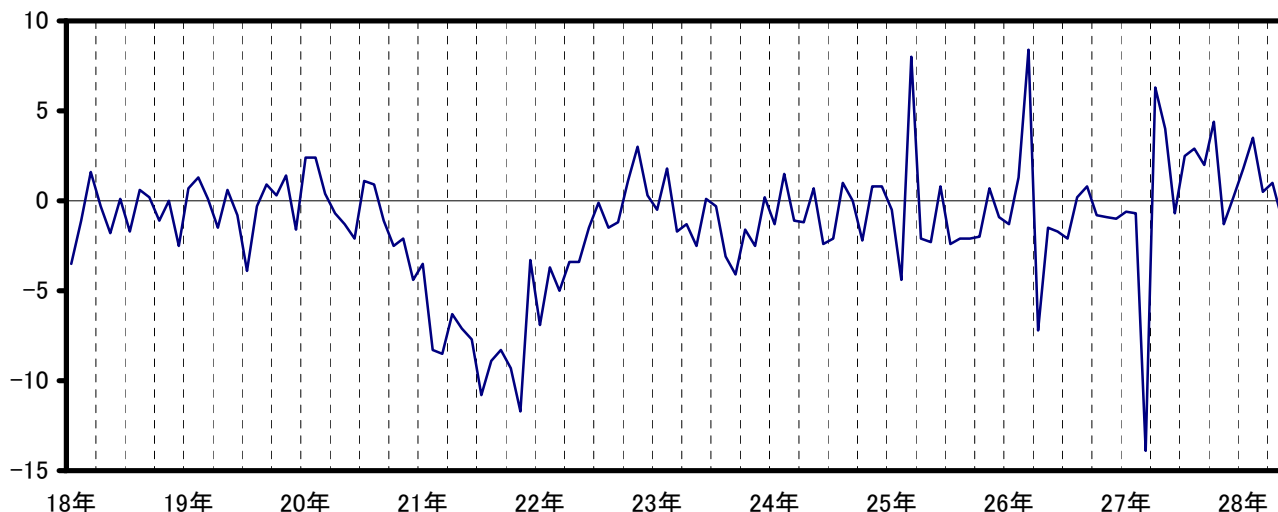
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 百貨店販売額

5月 = 5,788百万円

*前年同月比： 5.1%減

(県内3百貨店販売額)

<概況>

5月の県内3百貨店の販売額は5,788百万円で、前年同月比 5.1%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

品目別にみると、雑貨（前年同月比 11.4%増）が4か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 12.2%減）が7か月連続、身の回り品（同 4.9%減）が4か月連続、家庭用品（同 3.1%減）が2か月連続、食料品（同 4.2%減）が6か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
販売額（百万円）	6,365	6,563	9,026	6,971	5,540	6,827	5,726	5,788
前年同月比（%）	6.3	▲ 5.2	▲ 2.7	▲ 2.1	0.7	▲ 2.6	▲ 2.5	▲ 5.1
(参考)全国前年同月比（%）	4.2	▲ 2.7	0.1	▲ 1.9	0.2	▲ 2.9	▲ 3.8	▲ 5.1

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

<品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

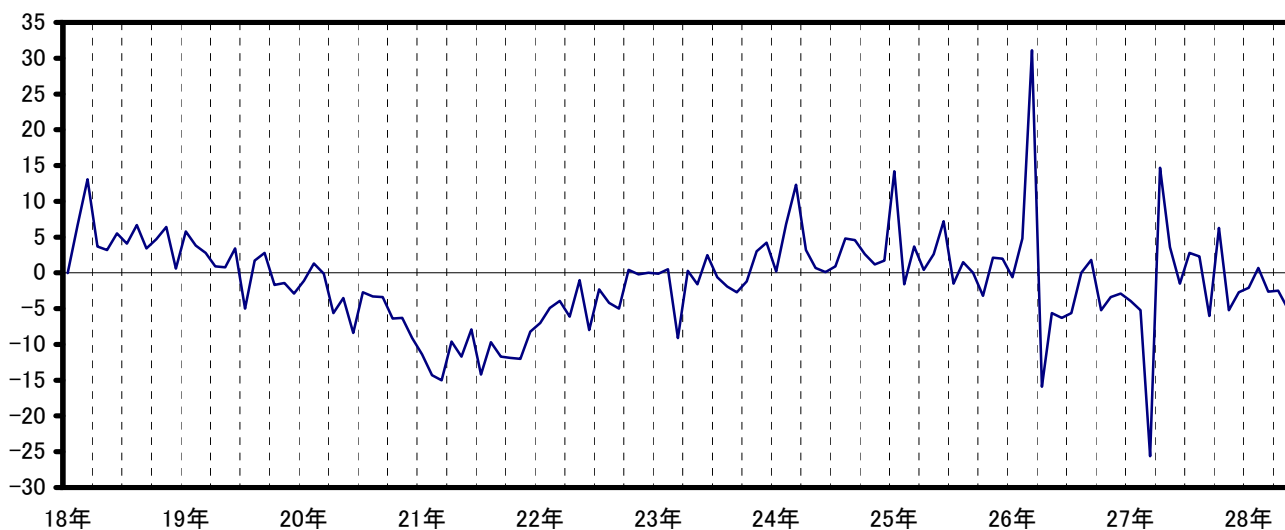
	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
衣料品	1.8	▲ 12.3	▲ 6.0	▲ 6.5	▲ 6.6	▲ 7.9	▲ 5.4	▲ 12.2
うち紳士服・洋品	1.5	▲ 15.6	▲ 8.7	▲ 7.6	▲ 9.9	▲ 5.9	▲ 7.8	▲ 8.2
婦人服・洋品	2.1	▲ 10.8	▲ 4.4	▲ 6.7	▲ 5.1	▲ 9.1	▲ 5.8	▲ 12.9
子供服・洋品	▲ 2.0	▲ 16.8	▲ 7.3	▲ 10.0	▲ 16.4	▲ 10.4	6.3	▲ 11.2
身の回り品	9.8	▲ 6.1	▲ 0.8	0.6	▲ 0.5	▲ 3.5	▲ 2.8	▲ 4.9
家庭用品	15.7	▲ 2.9	▲ 15.3	2.3	4.2	1.1	▲ 28.4	▲ 3.1
食料品	3.6	▲ 2.4	0.7	3.2	3.4	1.5	2.7	▲ 4.2
雑貨	16.9	8.5	▲ 0.5	▲ 0.8	11.0	4.4	10.1	11.4
うち美術・宝飾・貴金属	9.7	10.8	▲ 5.8	▲ 20.3	5.2	0.0	0.3	2.6

(注)店舗数調整済

<過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



(3) 専門量販店等販売額

5月 = 36,052百万円

*前年同月比： 0.2%増

(県内85家電大型専門店、448ドラッグストア、100ホームセンター合計)

<概況>

5月の専門量販店等販売額は36,052百万円で、前年同月比0.2%増となり、11か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、ドラッグストア（前年同月比 2.8%増）が14か月連続で前年実績を上回ったものの、家電大型専門店（同 1.3%減）、ホームセンター（同 3.7%減）がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
販売額（百万円）	33,878	33,811	42,593	34,535	31,796	36,581	34,569	36,052
前年同月比（%）	7.3	0.6	2.4	5.9	5.5	0.6	5.2	0.2
うち 家電大型専門店（%）	3.9	▲ 6.3	▲ 5.0	5.1	▲ 0.6	▲ 5.5	0.5	▲ 1.3
ドラッグストア（%）	10.5	7.5	10.6	7.9	10.0	5.3	8.3	2.8
ホームセンター（%）	3.7	▲ 6.3	▲ 3.7	2.2	1.4	▲ 1.8	3.1	▲ 3.7
(参考)全国前年同月比（%）	6.8	1.9	1.1	5.1	4.8	0.4	4.4	0.5

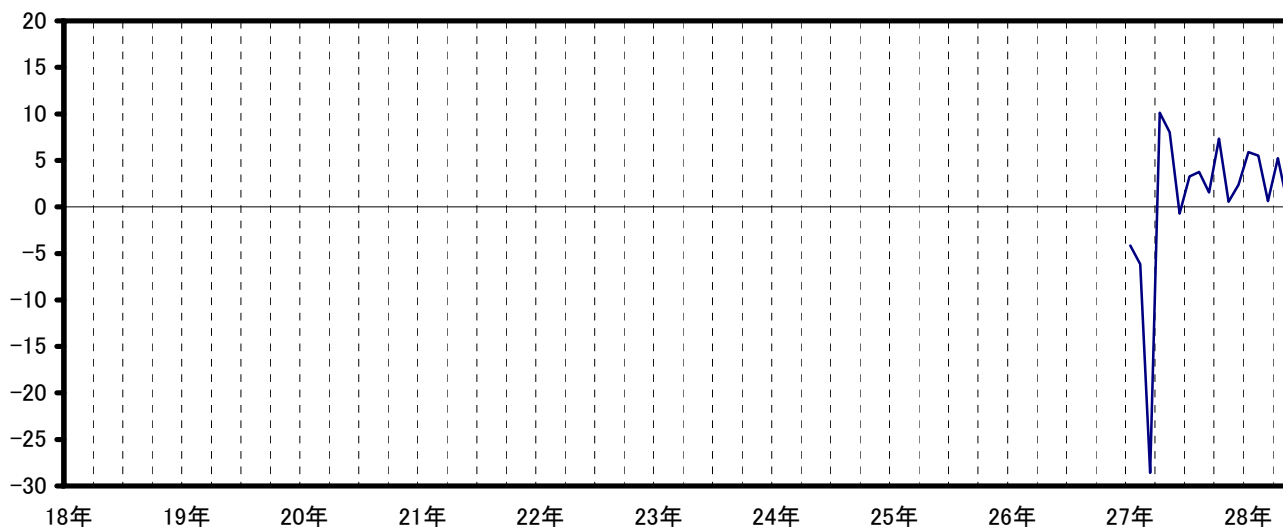
(注)販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



(4) 自動車(新車)新規登録台数

5月 = 12,892台

*前年同月比：12.9%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

5月の自動車(新車)新規登録台数は12,892台(前年同月比12.9%増)となり、2か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(同33.8%増)が2か月連続で前年実績を上回ったものの、軽自動車(同12.2%減)は17か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
登録台数(台)	12,880	13,034	13,192	14,747	17,217	22,040	12,446	12,892
前年同月比(%)	▲2.6	▲7.9	▲6.8	▲0.9	▲5.3	▲8.4	20.0	12.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲4.0	▲7.6	▲14.6	▲4.4	▲5.2	▲9.3	2.2	▲1.4

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

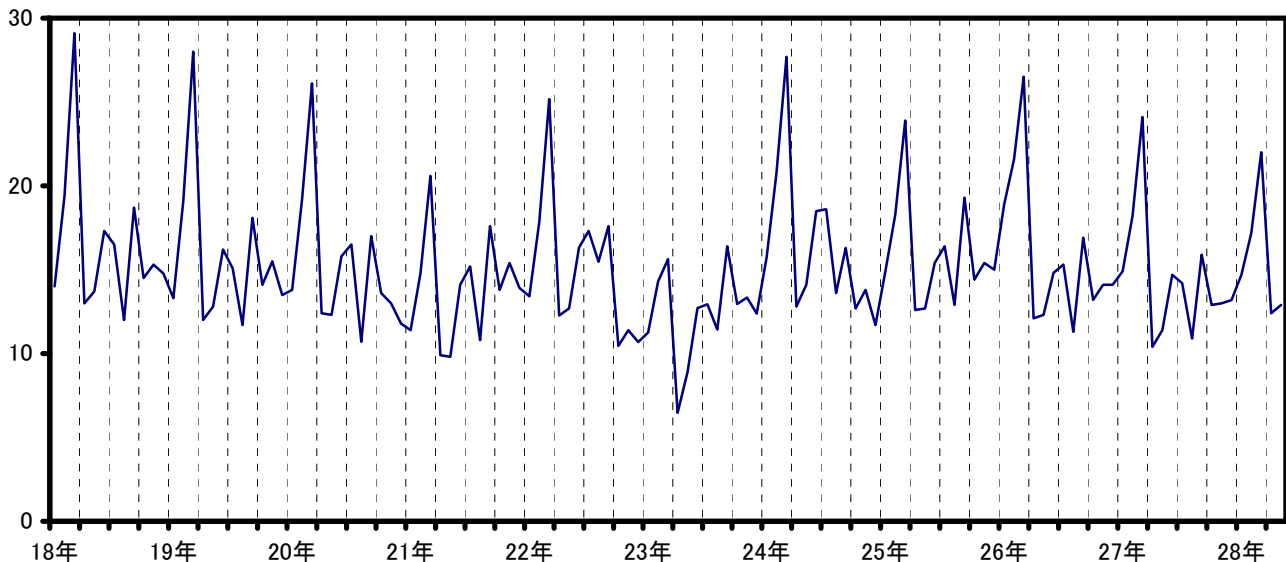
	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
全乗用車	▲2.6	▲7.9	▲6.8	▲0.9	▲5.3	▲8.4	20.0	12.9
乗用車	▲1.0	▲0.2	4.5	7.9	▲1.9	▲1.0	49.0	33.8
軽自動車	▲4.6	▲15.6	▲17.9	▲9.6	▲8.9	▲16.1	▲11.5	▲12.2

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

5月 = 1,817戸

*前年同月比： 5.1%減

<概況>

5月の新設住宅着工戸数は1,817戸で、前年同月比 5.1%減となり、4か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、貸家（前年同月比 21.7%増）が5か月連続で前年実績を上回ったものの、持家（同 0.3%減）が2か月連続、分譲住宅（同 44.0%減）が4か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

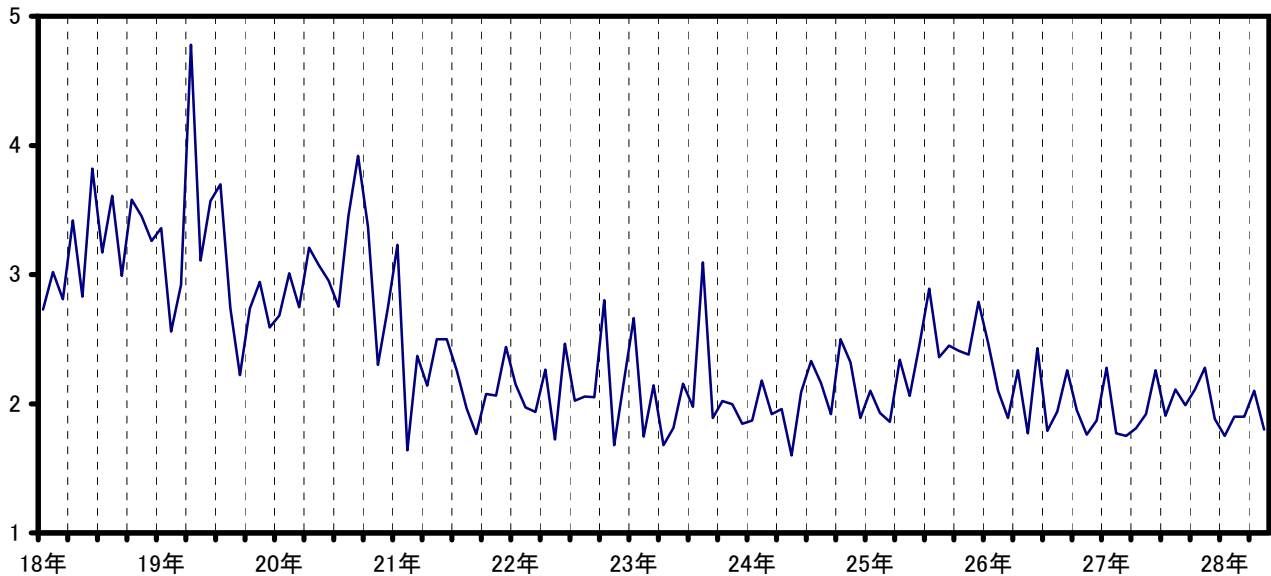
	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
戸数（戸）	2,114	2,280	1,883	1,753	1,895	1,885	2,096	1,817
前年同月比（%）	8.2	29.8	0.6	▲ 23.0	7.0	7.7	16.1	▲ 5.1
うち持家（%）	5.9	24.3	▲ 1.2	▲ 16.3	▲ 9.4	2.0	▲ 9.4	▲ 0.3
貸家（%）	19.0	44.4	▲ 14.6	5.8	9.3	9.9	33.8	21.7
分譲住宅（%）	▲ 1.7	17.7	31.2	▲ 63.6	55.8	33.0	90.6	▲ 44.0
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 2.5	1.7	▲ 1.3	0.2	7.8	8.4	9.0	9.8

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

5月 = 19,103百万円

*前年同月比：19.8%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

5月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は19,103百万円で、前年同月比19.8%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は393件で、前年同月比8.3%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
金額(百万円)	32,163	15,778	15,359	8,963	6,499	15,013	50,393	19,103
前年同月比(%)	52.9	9.2	▲0.6	▲5.4	▲19.7	▲0.7	28.7	▲19.8
年度累計前年同月比(%)	▲5.2	▲4.3	▲4.0	▲4.1	▲4.6	▲4.4	28.7	10.3
件数(件)	940	744	805	441	159	167	478	393
前年同月比(%)	10.1	8.6	7.5	▲4.5	▲44.8	▲8.7	3.7	8.3
年度累計前年同月比(%)	▲4.3	▲2.8	▲1.7	▲1.9	▲3.5	▲3.6	3.7	5.7

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

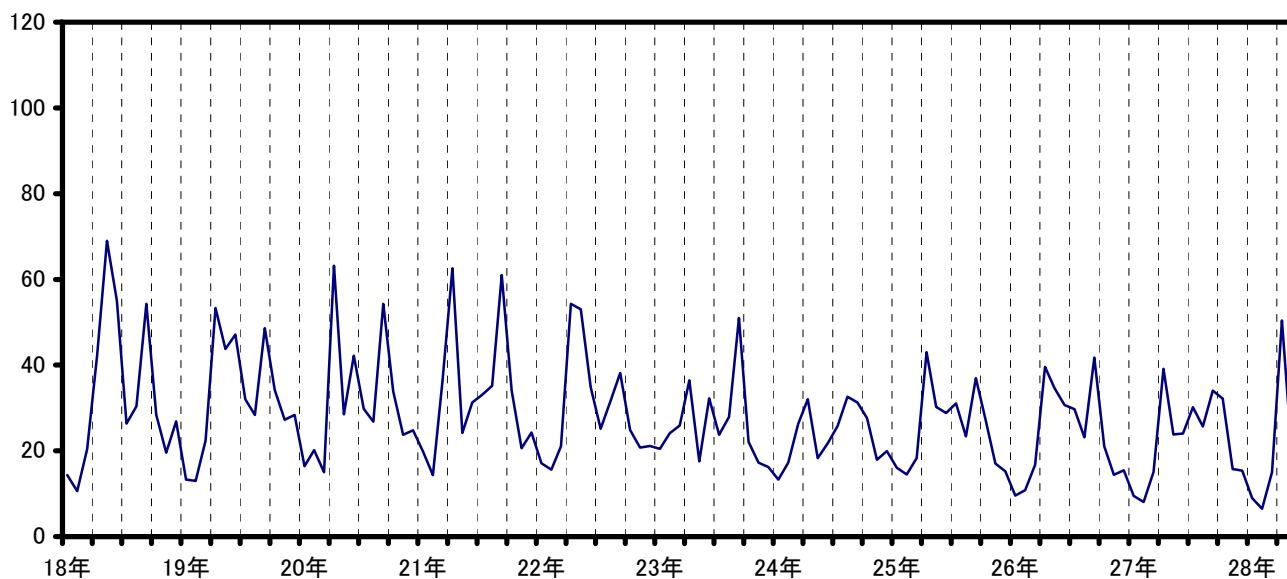
	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
国	15.6	▲47.4	8.4	72.0	17.0	▲19.5	84.8	4.4
独立行政法人等	549.5	▲71.2	▲11.0	▲92.4	▲64.3	1,900.6	103.0	▲17.8
県	27.3	24.3	17.4	▲15.5	▲60.3	▲46.5	15.7	▲27.1
市町	37.2	27.3	▲0.5	18.1	▲10.6	▲17.6	▲15.0	▲32.5
地方公社	166.0	—	218.8	1,780.0	—	—	—	9,445.5
その他	355.4	4.2	▲46.1	▲45.6	87.8	90.3	98.8	▲20.0

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成27年度の設備投資（実績）は、製造業（前年度比 17.1%増）、非製造業（同 1.8%増）ともに増加したことから、全産業（同 9.6%増）でも増加となった。

平成28年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 17.1%増）で増加、非製造業（同 0.4%減）で減少、全産業（同 9.1%増）では増加する計画となっている。

5月の着工建築物床面積（非居住用）は67,384㎡で、前年同月比 32.6%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>

（前年度比% （ ）内は前回調査比修正率）

		27年度 (実績)	27年度		28年度 (計画)	28年度	
			上期 (実績)	下期 (実績)		上期 (計画)	下期 (計画)
全産業	県	(▲5.5) 9.6	(▲0.3) 13.4	(▲9.6) 6.5	(3.3) 9.1	(3.8) 14.5	(2.8) 4.5
	全国	(▲2.8) 5.0		(▲3.9) 5.6	(2.5) 0.4	(1.5) 9.4	(3.4) ▲6.6
製造業	県	(▲5.3) 17.1	(0.3) 22.7	(▲9.0) 13.2	(3.2) 17.1	(▲4.5) 23.9	(10.5) 12.1
	全国	(▲1.5) 9.1	7.1	(▲2.7) 10.7	(5.3) 6.0	(4.8) 18.8	(5.9) ▲3.8
非製造業	県	(▲5.9) 1.8	(▲0.9) 5.3	(▲10.4) ▲1.3	(3.4) ▲0.4	(15.8) 5.0	(▲7.4) ▲5.7
	全国	(▲3.5) 2.9	2.7	(▲4.5) 3.1	(1.0) ▲2.5	(▲0.4) 4.6	(2.1) ▲8.0

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成28年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成28年6月調査)」

<最近の動き>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	143,311	110,179	86,797	143,745	82,939	154,306	89,979	67,384
前年同月比（%）	▲ 17.6	▲ 29.4	▲ 16.9	100.2	▲ 0.6	151.3	▲ 14.4	▲ 32.6
(参考) 全国前年同月比（%）	▲ 22.1	▲ 6.8	6.7	▲ 11.1	▲ 12.0	12.7	▲ 22.0	19.0

(注) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	28年3月	28年6月	28年9月 (予測)
全産業	7	3	▲ 3
製造業	2	▲ 2	▲ 4
非製造業	11	7	▲ 2
(参考) 全国・全産業	7	4	2

(注) 業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成28年6月調査)」

5 輸出

5月 = 139,496百万円

*前年同月比： 4.8%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

5月の清水税関支署管内の輸出総額は139,496百万円で、前年同月比 4.8%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、二輪自動車類（前年同月比 14.2%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 1.5%減）が12か月ぶり、エアコン（同 4.1%減）が5か月連続、自動車（同 34.3%減）が13か月連続、自動車の部分品（同 2.9%減）が10か月連続、科学光学機器（同 8.0%減）が15か月ぶりに前年実績を下回った。

地域別にみると、EU向け（同 27.4%増）が4か月連続で前年実績を上回ったものの、アジア向け（同 4.6%減）が3か月連続、米国向け（同 14.7%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
輸出総額(百万円)	172,316	154,196	179,516	143,606	168,867	179,315	167,022	139,496
前年同月比(%)	▲ 1.9	▲ 5.1	▲ 5.7	▲ 13.5	3.5	▲ 1.7	▲ 3.1	▲ 4.8

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
原動機	19.0	10.4	7.3	7.2	16.9	27.9	5.3	▲ 1.5
エアコン	▲ 15.5	20.4	22.9	▲ 24.2	▲ 11.0	▲ 19.1	▲ 1.9	▲ 4.1
自動車	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 19.2	▲ 46.5	▲ 25.9	▲ 19.8	▲ 9.5	▲ 34.3
自動車の部分品	▲ 10.3	▲ 4.4	▲ 3.9	▲ 20.4	▲ 4.8	▲ 4.8	▲ 12.9	▲ 2.9
二輪自動車類	▲ 24.2	▲ 37.1	▲ 27.2	▲ 22.9	▲ 3.1	▲ 2.7	14.1	14.2
科学光学機器	41.1	48.5	21.4	8.0	67.3	45.3	6.5	▲ 8.0

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
アジア	0.1	0.2	▲ 1.4	▲ 10.8	6.7	▲ 4.5	▲ 4.1	▲ 4.6
米国	▲ 4.8	▲ 7.0	▲ 20.7	▲ 5.2	4.3	5.9	▲ 5.6	▲ 14.7
EU	18.1	0.3	17.4	▲ 20.2	13.0	12.1	18.1	27.4

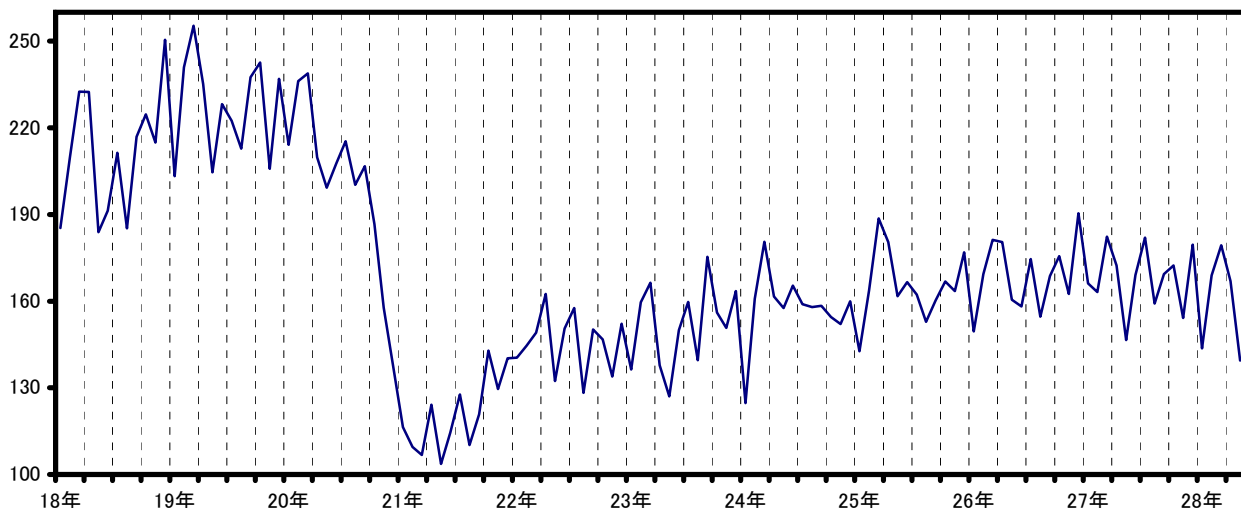
<資料>清水税関支署

(注)管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

5月 = 78,982百万円

*前年同月比： 0.7%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

5月の清水税関支署管内の輸入総額は78,982百万円で、前年同月比 0.7%減となり、6か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、魚介類（前年同月比 13.5%増）、原動機（同 39.9%増）がいずれも2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、木材（同 10.7%減）、パルプ（同 9.0%減）がいずれも5か月連続、紙類及び同製品（同 1.2%減）が2か月連続、自動車の部分品（同 37.7%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（同 1.2%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、米国から（同 14.9%減）が3か月連続、EUから（同 19.6%減）が5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
輸入総額(百万円)	84,964	81,618	78,322	86,528	76,372	77,666	70,726	78,982
前年同月比(%)	▲ 3.8	8.2	▲ 18.4	▲ 11.2	▲ 10.7	▲ 11.0	▲ 21.6	▲ 0.7

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
魚 介 類	▲ 18.1	▲ 1.0	▲ 0.1	▲ 2.9	▲ 0.4	10.0	▲ 6.9	13.5
木 材	▲ 35.8	▲ 5.2	21.6	▲ 11.0	▲ 12.9	▲ 10.1	▲ 34.4	▲ 10.7
パ ル プ	22.5	35.4	10.5	▲ 15.3	▲ 13.4	▲ 29.7	▲ 29.6	▲ 9.0
紙 類 及 び 同 製 品	▲ 5.1	23.9	32.2	23.4	24.9	42.7	▲ 6.7	▲ 1.2
原 動 機	▲ 10.9	0.0	▲ 27.1	▲ 1.4	▲ 51.6	99.8	▲ 55.3	39.9
自 動 車 の 部 分 品	12.6	▲ 18.6	▲ 1.5	4.5	▲ 42.4	▲ 36.2	▲ 42.7	▲ 37.7

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

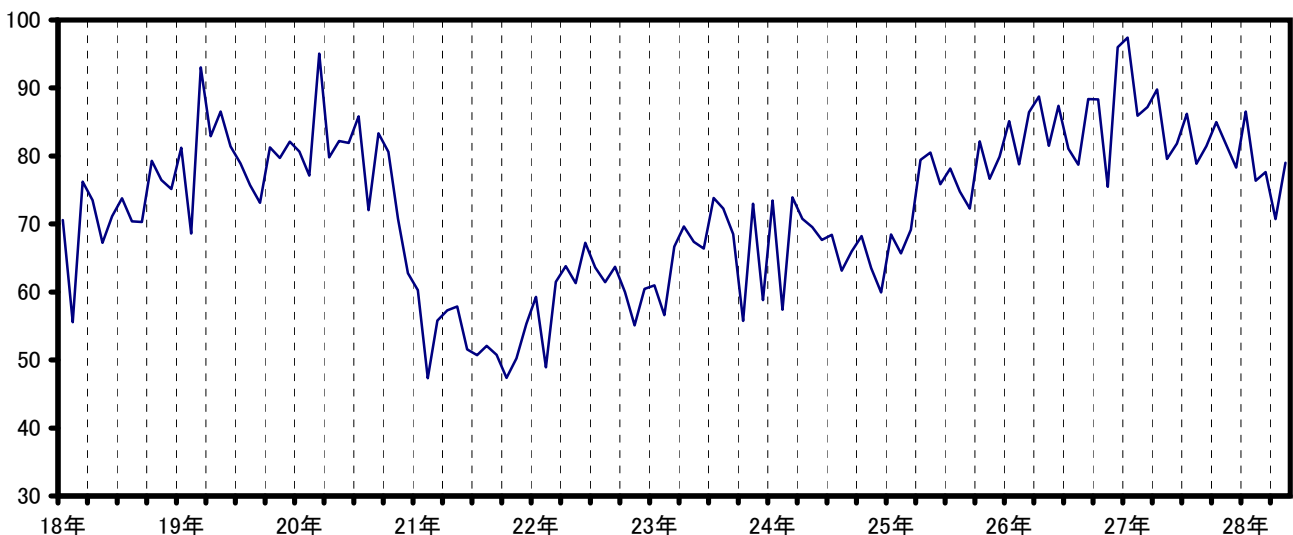
	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
ア ジ ア	4.8	2.6	▲ 8.7	▲ 7.2	▲ 11.6	5.9	▲ 11.3	1.2
米 国	41.5	80.8	▲ 33.1	17.2	4.7	▲ 10.1	▲ 18.1	▲ 14.9
E U	▲ 19.8	2.3	8.5	▲ 6.0	▲ 10.1	▲ 20.4	▲ 35.4	▲ 19.6

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

4月 = 93.9

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 3.5%増

*前年同月比(原指数) : 3.0%減

<概況>

4月の鉱工業生産指数(総合)は93.9(季節調整済指数)で、前月比3.5%増となり、2か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は3.0%減と5か月連続で前年を下回った。
業種別にみると、電気機械(前年同月比1.4%増)が3か月連続、化学(同22.9%増)が11か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同0.5%減)、食料品・たばこ(同14.0%減)がいずれも3か月連続、輸送機械(同11.7%減)が14か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同2.1%減)が2か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
指数	90.3	90.1	90.2	89.8	92.9	90.2	90.7	93.9
前月比(%)	0.4	▲0.2	0.1	▲0.4	3.5	▲2.9	0.6	3.5
前年同月比(%)	▲2.1	▲4.6	0.3	▲2.3	▲5.0	▲4.9	▲6.2	▲3.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.9	▲1.4	1.6	▲1.6	▲3.8	▲1.5	▲5.2	▲3.5

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲9.7	▲0.1	12.4	▲3.5	0.8	▲13.4	▲3.3	▲0.5
電気機械工業	3.5	▲2.0	7.7	0.2	▲2.8	4.5	12.2	1.4
輸送機械工業	▲11.4	▲16.2	▲13.1	▲16.0	▲18.7	▲21.0	▲30.6	▲11.7
化学工業	9.7	10.7	15.5	17.0	14.5	18.4	23.4	22.9
パルプ・紙・紙加工品工業	1.1	▲1.0	▲0.6	0.8	▲1.5	1.4	▲2.6	▲2.1
食料品・たばこ工業	10.4	▲1.1	3.2	8.5	0.9	▲0.3	▲2.8	▲14.0

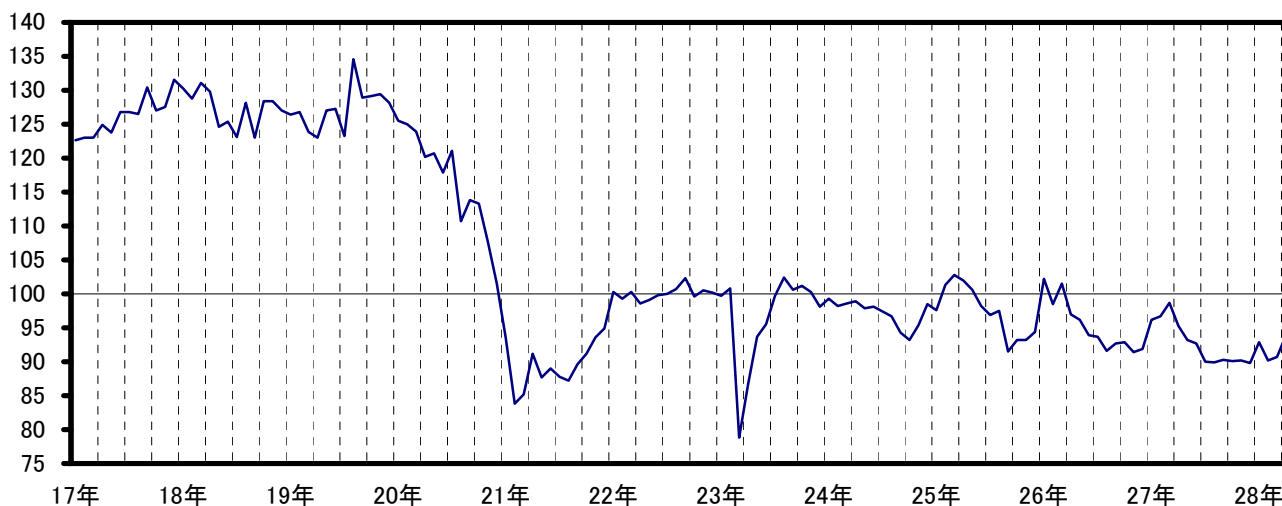
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

4 月 = 122.9

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.4%減

*前年同月比(原指数) : 9.1%増

<概況>

4月の鋳工業在庫指数(総合)は122.9(季節調整済指数)で、前月比は2.4%減と3か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は9.1%増と14か月連続で前年水準を上回った。
 なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。
 業種別にみると、輸送機械(前年同月比0.4%減)が15か月ぶり、食料品・たばこ(同14.1%減)が2か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同2.6%増)が13か月ぶり、電気機械(同17.0%増)が28か月連続、化学(同13.6%増)が9か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同1.9%増)が8か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
指数	116.8	120.4	119.6	120.5	119.9	123.3	125.9	122.9
前月比(%)	0.2	3.1	▲0.7	0.8	▲0.5	2.8	2.1	▲2.4
前年同月比(%)	11.3	16.1	16.4	18.9	21.2	19.0	12.2	9.1
(参考)全国前年同月比(%)	2.0	0.2	▲0.5	0.0	0.2	▲0.9	▲0.2	0.1

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲7.0	▲5.4	▲6.9	▲7.8	▲10.3	▲3.0	▲8.5	2.6
電気機械工業	26.0	17.1	25.7	20.7	24.4	23.2	25.0	17.0
輸送機械工業	104.6	114.2	113.3	160.2	130.7	69.1	41.3	▲0.4
化学工業	10.0	17.6	9.8	14.7	11.5	17.3	14.1	13.6
パルプ・紙・紙加工品工業	3.0	6.1	6.4	11.8	13.5	10.0	6.0	1.9
食料品・たばこ工業	▲7.9	3.2	6.5	7.1	6.3	7.6	▲3.4	▲14.1

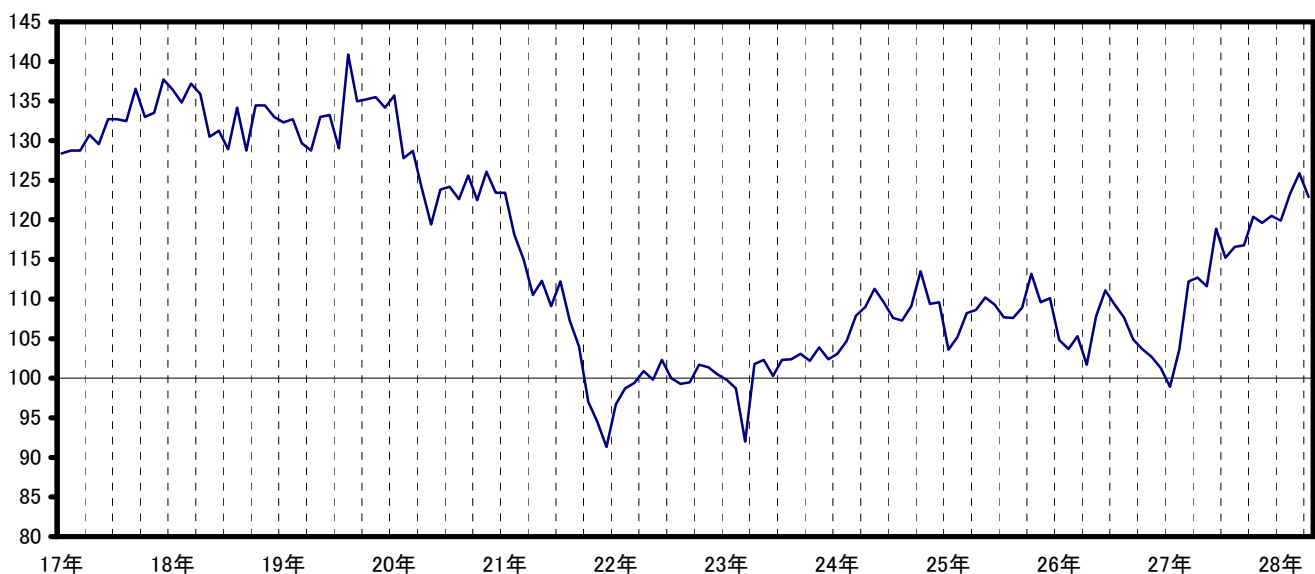
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

5 月 = 1.35倍

*前月比 (季節調整値) : 0.01ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

5月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.35倍となり、前月を0.01ポイント下回った。また、2か月ぶりに全国値を下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比9.1%増)は4か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業(前年同月比40.3%減)が7か月連続、医療・福祉(同3.8%減)が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、建設業(同6.3%増)が4か月連続、製造業(同8.9%増)、卸売業・小売業(同64.3%増)がいずれも7か月連続、運輸業・郵便業(同12.6%増)が3か月ぶり、サービス業(他に分類されないもの)(同15.8%増)が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
県	1.23	1.24	1.25	1.24	1.25	1.27	1.36	1.35
全 国	1.24	1.26	1.27	1.28	1.28	1.30	1.34	1.36

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
建 設 業	2.4	2.0	14.1	▲ 5.1	0.8	11.0	5.1	6.3
製 造 業	▲ 0.7	6.7	4.6	9.5	4.6	11.0	9.2	8.9
情 報 通 信 業	21.4	▲ 17.2	▲ 15.8	▲ 20.8	▲ 13.1	▲ 17.9	▲ 32.0	▲ 40.3
運 輸 業 ・ 郵 便 業	5.1	0.8	13.3	▲ 9.4	8.0	▲ 0.6	▲ 5.2	12.6
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 1.3	10.5	17.5	18.9	59.3	28.0	12.0	64.3
医 療 ・ 福 祉	▲ 12.5	▲ 2.2	▲ 10.0	▲ 16.9	9.8	▲ 1.9	5.2	▲ 3.8
サービス業(他に分類されないもの)	11.5	0.3	24.8	▲ 13.6	▲ 5.3	11.4	20.0	15.8
合 計	▲ 1.2	3.2	6.5	▲ 5.1	11.1	7.9	5.6	9.1

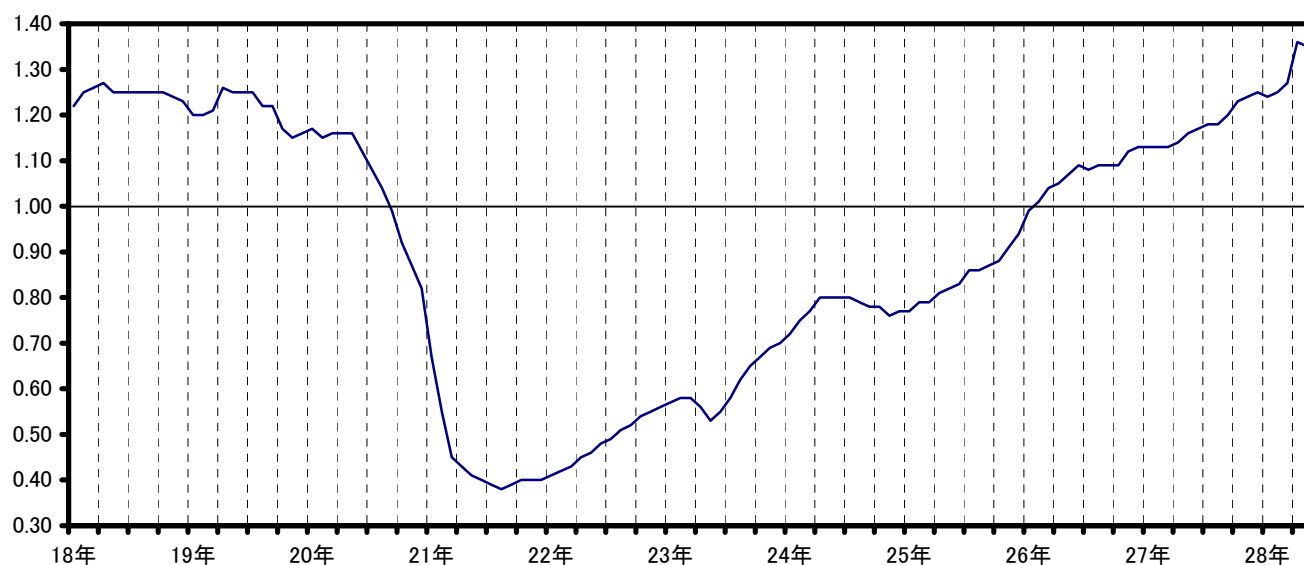
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

5月 = 11,955人

*前月比: 7.6%増

*前年同月比: 13.2%減

<概況>

5月の雇用保険受給者実人員は11,955人で、前月比は7.6%増と4か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比は13.2%減と34か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は3.2%で、前月と同水準となった。
 静岡県(平成28年1~3月)の完全失業率は2.7%で、前期(27年10~12月)と同水準となった。

<最近の動き>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
実人員(人)	13,753	12,991	12,320	12,525	12,042	11,671	11,113	11,955
前月比(%)	▲5.4	▲5.5	▲5.2	1.7	▲3.9	▲3.1	▲4.8	7.6
前年同月比(%)	▲12.1	▲8.3	▲11.0	▲10.1	▲8.7	▲9.8	▲12.8	▲13.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲7.3	▲3.4	▲6.3	▲6.2	▲4.6	▲6.0	▲8.9	▲5.5

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
完全失業率(全国)(%)	3.1	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2	3.2

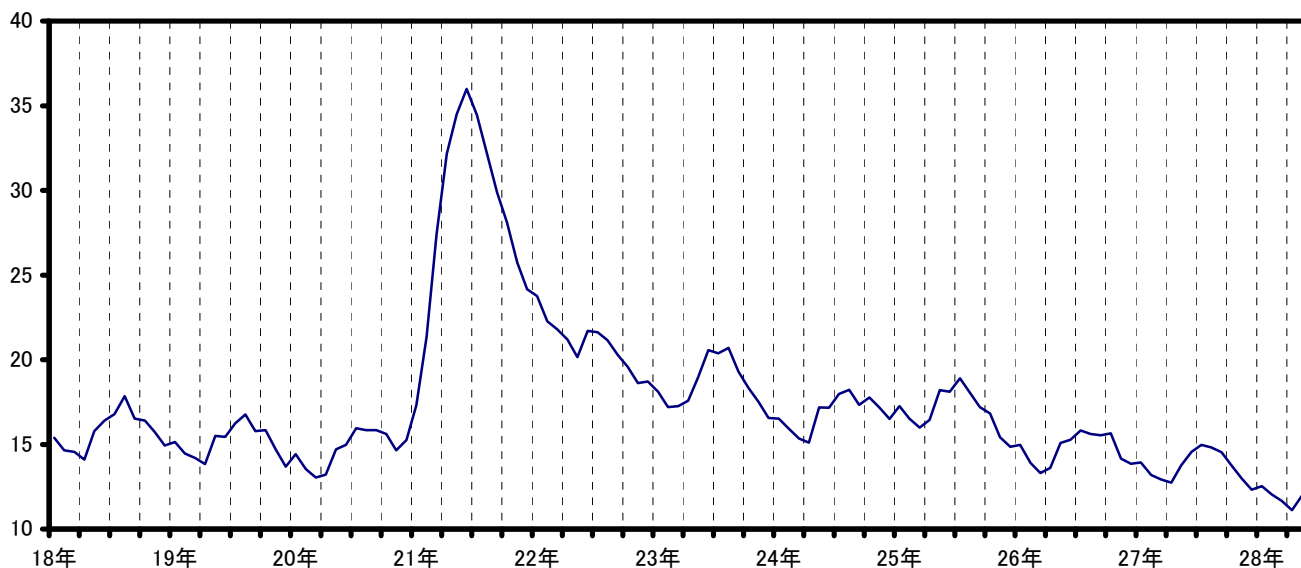
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

4 月 = 112.5

*前月比(季節調整済指数): 5.0%増

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 5.5%増

<概況>

4月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は112.5(季節調整済指数)で、前月比5.0%増となった。また、前年同月比(原指数)は5.5%増となり、2か月ぶりに前年を上回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比37.5%減)が5か月連続、その他のサービス業(同7.7%減)が2か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業(同3.8%増)が4か月ぶり、情報通信業(同5.4%増)が3か月ぶり、運輸業・郵便業(同1.3%増)が5か月ぶり、医療・福祉(同14.9%増)が2か月連続で前年実績を上回った。卸売業・小売業は前年と同水準だった。

<最近の動き>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
指数	111.8	113.7	113.0	111.0	108.6	111.5	107.1	112.5
前月比(%)	6.8	1.7	▲0.6	▲1.8	▲2.2	2.7	▲3.9	5.0
前年同月比(%)	2.8	6.3	5.1	0.5	▲2.7	0.0	▲2.0	5.5
(参考)全国前年同月比(%)	1.0	0.0	0.8	▲1.5	▲3.1	▲1.6	▲0.7	▲0.7

*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
建設業	9.9	8.8	8.6	▲5.4	▲31.6	▲31.5	▲33.9	▲37.5
製造業	6.3	11.2	9.1	0.4	▲1.1	▲3.9	▲7.0	3.8
情報通信業	23.4	10.3	59.3	55.0	32.4	▲7.8	▲9.1	5.4
運輸業・郵便業	▲9.1	▲1.0	1.4	▲0.3	▲10.6	▲1.6	▲9.9	1.3
卸売業・小売業	▲13.0	▲7.1	▲4.1	▲4.3	▲28.7	▲11.0	11.4	0.0
医療・福祉	▲7.6	36.7	38.4	▲20.9	▲19.4	▲13.9	6.9	14.9
その他のサービス業	15.9	▲9.0	2.6	15.6	6.5	6.4	▲1.6	▲7.7
調査産業計	2.8	6.3	5.1	0.5	▲2.7	0.0	▲2.0	5.5

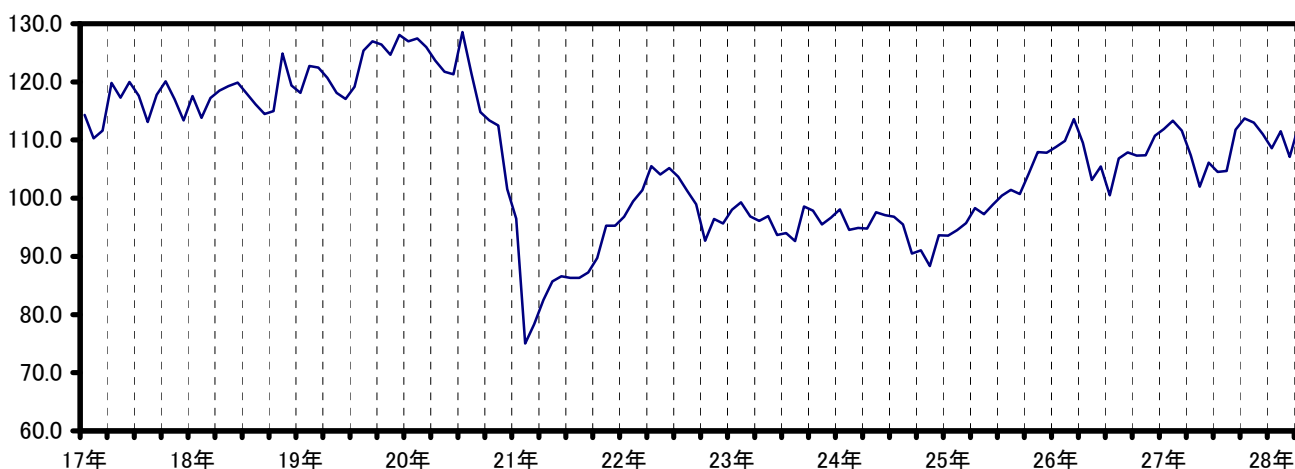
*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

6 月 = 99.2

(平成22年=100)

*前 月 比: 0.1%下落

*前年同月比: 4.2%下落

<概 況>

6月の国内企業物価指数は99.2となり、前月比は0.1%の下落となった。また、前年同月比は4.2%の下落となった。

<最近の動き>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
国内企業物価指数	101.3	101.0	100.0	99.7	99.6	99.2	99.3	99.2
前 月 比 (%)	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 1.0	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.4	0.1	▲ 0.1
前年同月比 (%)	▲ 3.7	▲ 3.5	▲ 3.2	▲ 3.4	▲ 3.8	▲ 4.2	▲ 4.3	▲ 4.2

*平成22年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

5 月 = 135,574億円

(銀行、信用金庫)

*前 月 比: 0.2%減

*前年同月比: 2.2%増

<概 況>

5月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は135,574億円で、前月比は0.2%減、前年同月比は2.2%増となった。

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
貸出残高(億円)	133,704	134,046	137,340	136,096	135,700	138,097	135,831	135,574
前 月 比 (%)	▲ 0.8	0.3	2.5	▲ 0.9	▲ 0.3	1.8	▲ 1.6	▲ 0.2
前年同月比 (%)	2.0	1.7	2.8	2.8	2.6	2.5	2.3	2.2

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

5 月 = 2.152%

(県内地銀4行総平均)

*前 月 差: 0.004ポイント減

*前年同月差: 0.015ポイント増

<概 況>

5月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.152%で、前月から0.004ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.015ポイントのプラスとなった。

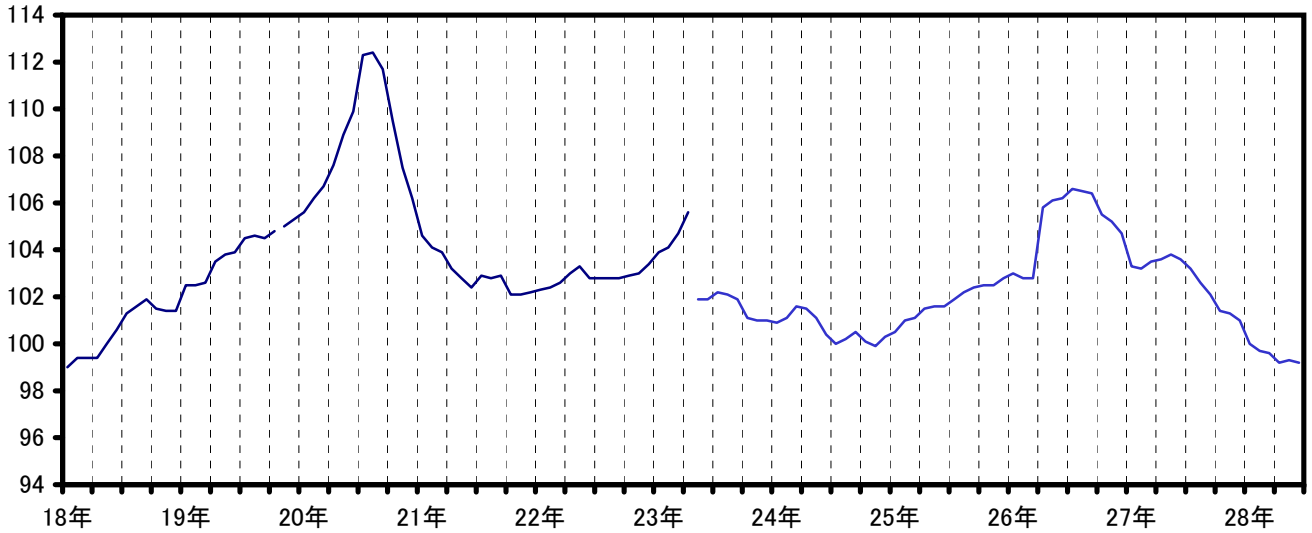
	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
貸出約定金利(%)	2.166	2.168	2.150	2.159	2.164	2.145	2.156	2.152
前月差(ポイント)	0.018	0.002	▲ 0.018	0.009	0.005	▲ 0.019	0.011	▲ 0.004
前年同月差(ポイント)	0.042	0.042	0.032	0.028	0.022	0.021	0.019	0.015

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

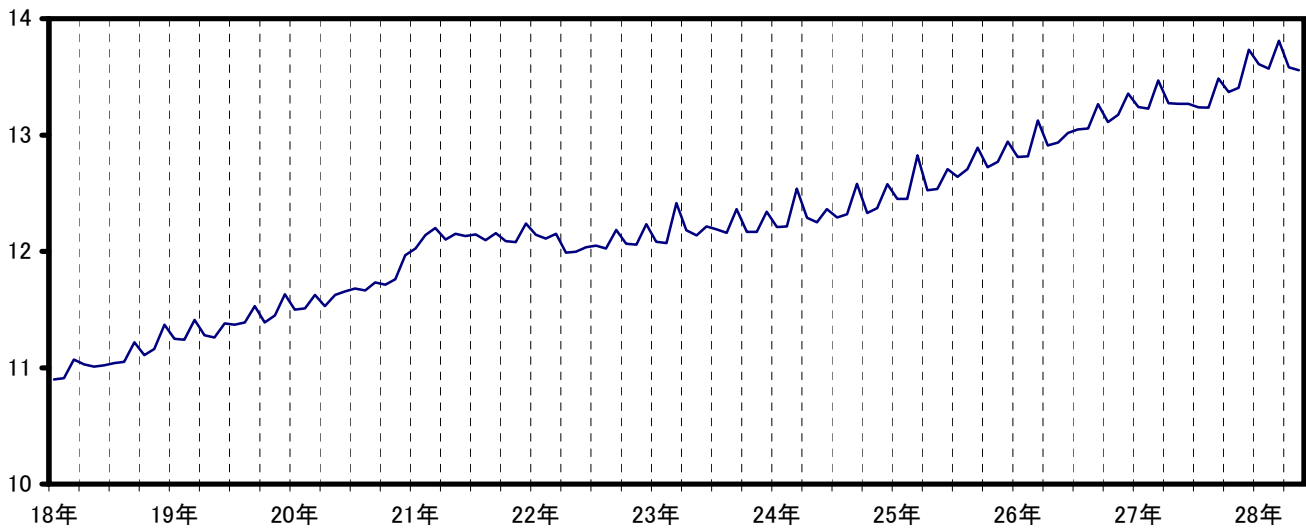
国内企業物価指数(平成22年=100)

<資料>日本銀行



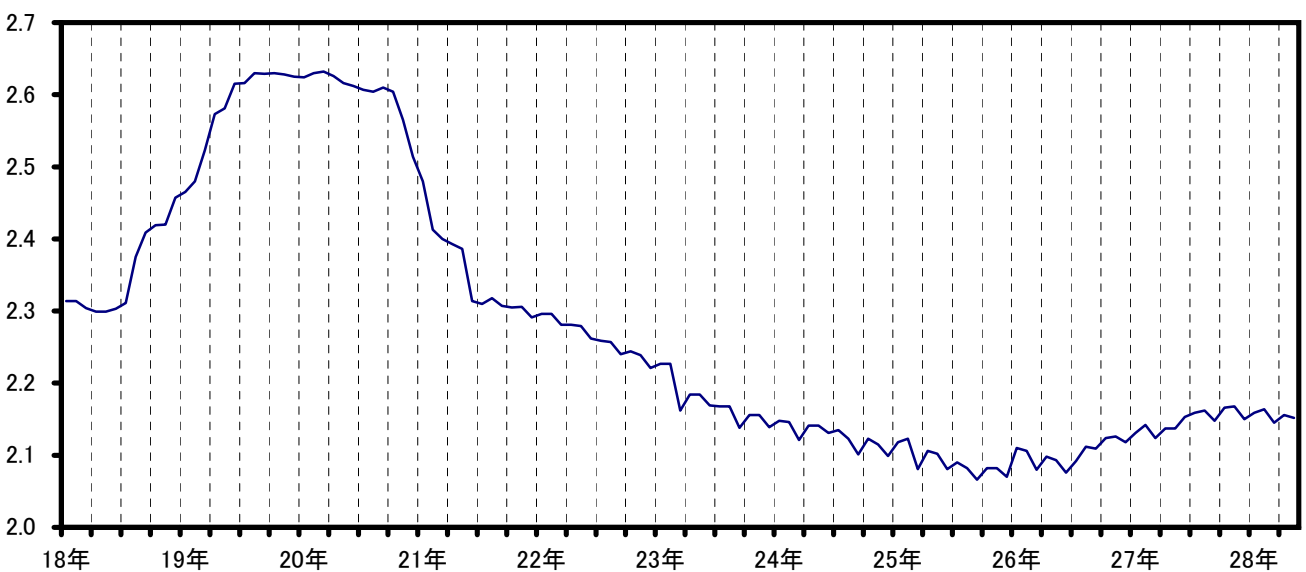
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**5月 = 17,302百万円**

*前年同月比： 同水準

<概況>

5月の保証承諾は、金額が17,302百万円（前年同月比 0.0%増）と前年と同水準となり、件数は1,835件（同 6.2%減）と14か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
保証金額（百万円）	19,867	19,298	26,865	15,313	18,631	24,978	14,208	17,302
前年同月比（%）	▲ 5.1	▲ 8.9	▲ 12.6	▲ 18.2	▲ 12.0	▲ 19.1	▲ 15.9	0.0
保証件数（件）	2,142	2,015	2,647	1,694	2,029	2,621	1,600	1,835
前年同月比（%）	▲ 2.9	▲ 6.9	▲ 16.6	▲ 12.7	▲ 13.3	▲ 18.5	▲ 13.8	▲ 6.2

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**6月 = 105.49円/ドル**

*前月差： 3.66円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 18.26円高

<概況>

6月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は105.49円で、前月と比べて3.66円の円高となり、7か月連続の円高となった。

<最近の動き>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
平均相場（円）	122.54	121.84	118.25	115.02	113.07	109.88	109.15	105.49
前月差（円）	2.48	▲ 0.70	▲ 3.59	▲ 3.23	▲ 1.95	▲ 3.19	▲ 0.73	▲ 3.66
前年同月差（円）	6.32	2.44	0.01	▲ 3.55	▲ 7.32	▲ 9.67	▲ 11.59	▲ 18.26

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****6月 = 31件**

*前年同月比： 47.6%増

<概況>

6月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は31件（前年同月比 47.6%増）となり、前年実績を上回ったものの、負債総額は5,095百万円（同 40.7%減）となり、前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が27件と全体の68.7%を占め、223か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

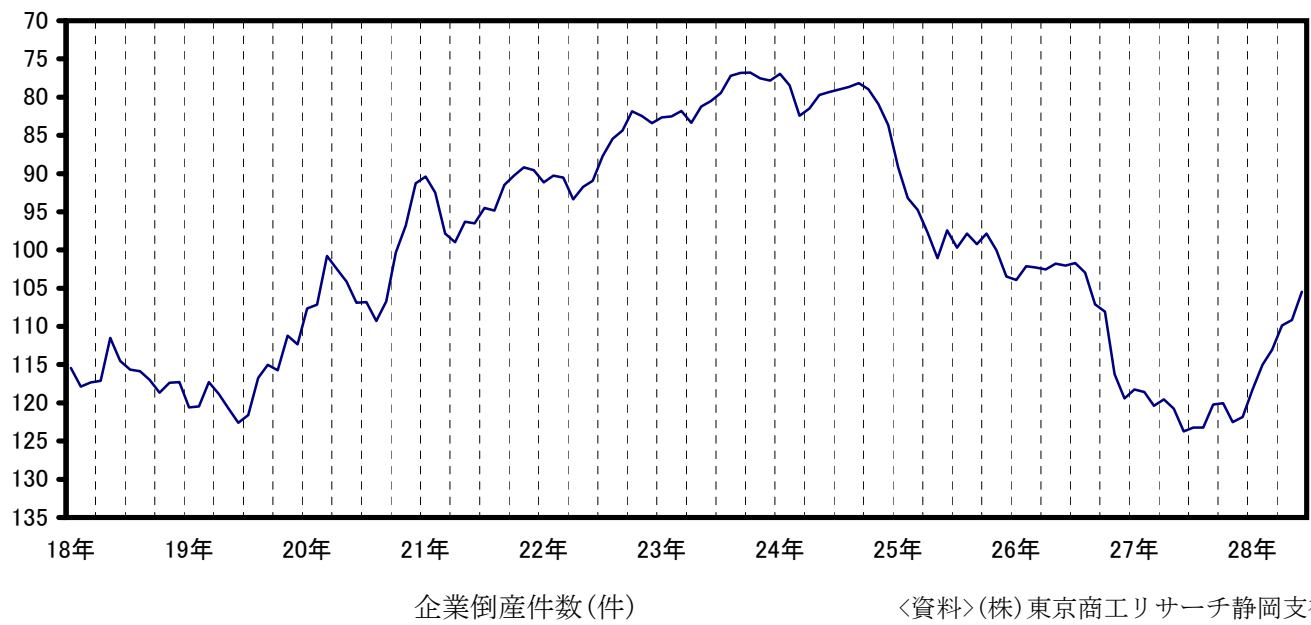
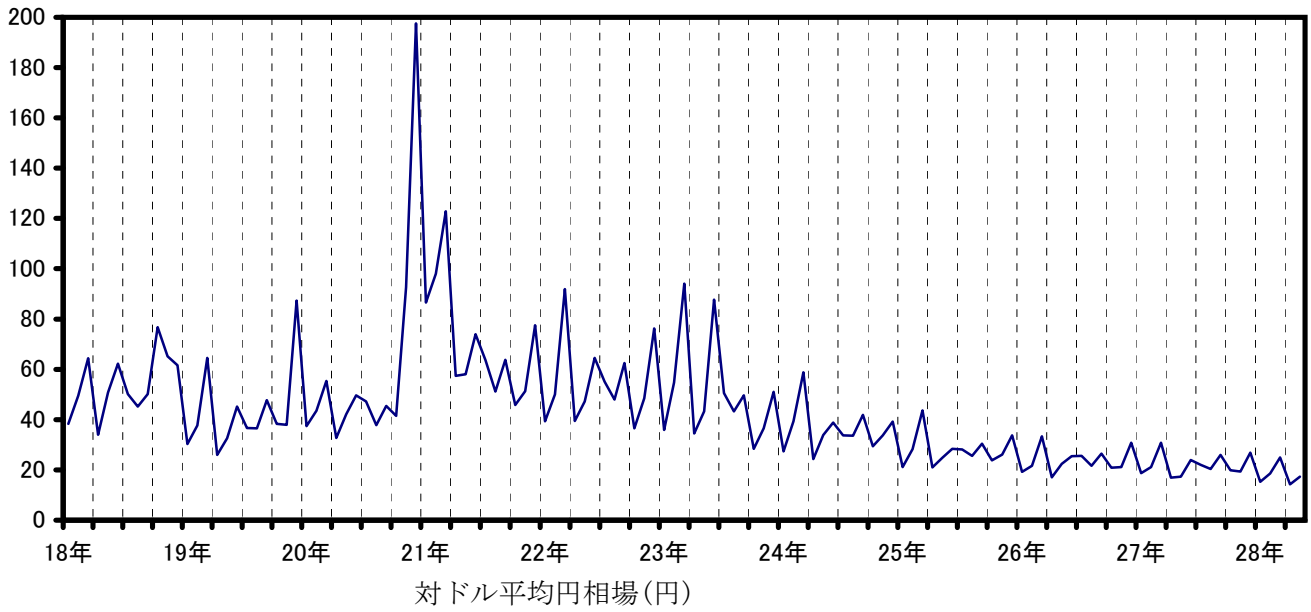
	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
倒産件数（件）	24	19	19	27	25	12	35	31
前年同月比（%）	0.0	▲ 13.6	▲ 24.0	50.0	8.6	▲ 52.0	66.6	47.6
うち不況型倒産件数（件）	20	13	16	26	21	11	33	27
負債総額（百万円）	5,366	3,548	3,134	2,949	2,899	1,704	8,797	5,095
前年同月比（%）	82.8	▲ 11.6	▲ 51.0	50.0	▲ 2.8	▲ 57.4	205.6	▲ 40.7

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

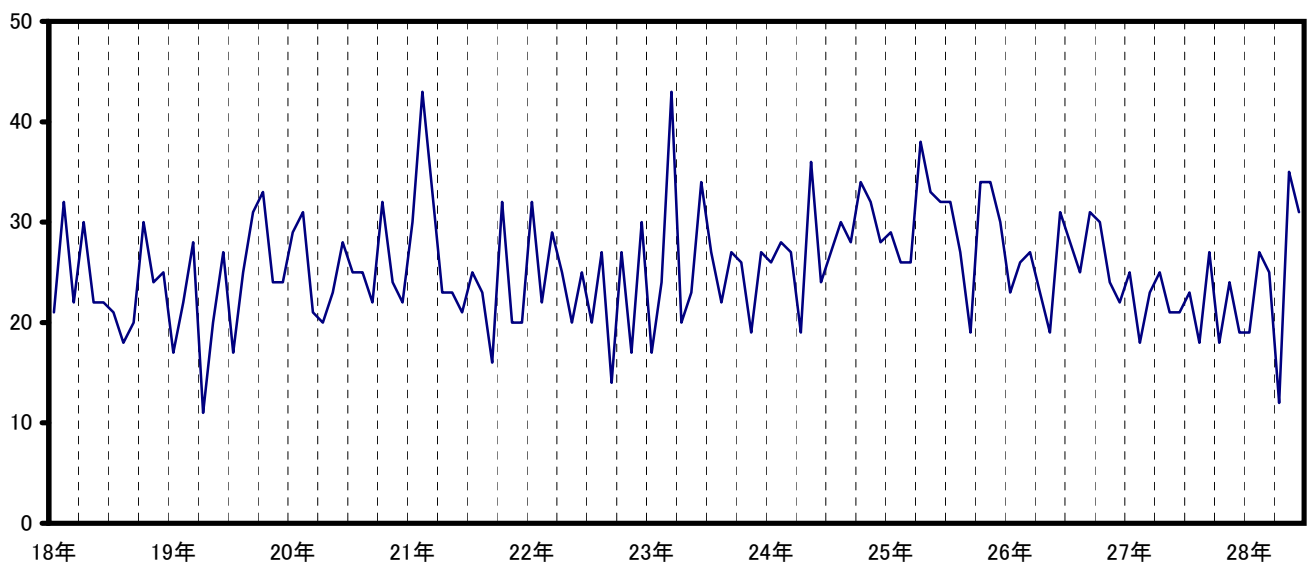
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成28年5月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車 二輪車部品	<p>5月の国内二輪車生産台数は、30,482台（前年同月比 3.4%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回った。また、前月まで好調であった原付第一種（50cc以下）も2,747台（同25.9%減）と6か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは22,282台（同23.1%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>輸出向けは、25,570台（同 2.6%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。特にヨーロッパ向けが13,771台（同44.0%増）と好調であった。</p> <p>＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>5月の自動車国内生産台数は656,814台（前年同月比 1.7%増）となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。また、輸出は302,682台（同 4.6%増）となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが13か月連続で前年実績を下回ったものの、乗用車が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>輸出は、アジア向けが4か月連続、欧州向けが3か月連続、北米向けが2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>5月の冷蔵庫の国内出荷額は312億6,900万円（前年同月比 5.1%減）、国内出荷台数は260千台（同11.5%減）となり、ともに5か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>5月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは759千台（同 2.9%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。業務用は60千台（同 1.8%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>4月の携帯電話と公衆用PHSを合わせた移動電話の国内出荷台数は、1,133千台（同12.3%増）で、6か月ぶりで前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、449千台（同11.7%増）となり、単月のスマートフォン比率は39.6%であった。</p> <p>＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>5月の工作機械の受注総額は、1,043億5,900万円（前年同月比24.7%減）と、10か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は654億9,900万円（同23.6%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。特に、アジア向けが264億8,200万円（同44.1%減）と、12か月連続で前年実績を下回った。内需は388億6,000万円（同26.5%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、コンプライアンスを守らない企業が大きく叩かれる傾向にあり、これにより関連する企業が必要以上に不利益を被るケースが多いという声や、熊本地震の発生後、代替生産依頼が散見されたほか、商談案件は相応にあるものの、経済環境等から先行きに懸念を示す経営者が多いとの声も聞かれた。</p> <p>＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>5月の県内楽器メーカーの販売金額は、50億4,000万円（前年同月比 7.7%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが24億3,600万円（同19.0%減）で、国内向けが26億400万円（同 6.0%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,581台（同 1.5%減）であった。機種別では、アップライトピアノが1,717台（同 3.3%増）、グランドピアノが864台（同 9.8%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,655台（同18.1%減）、国内向けが931台（同11.3%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>5月の紙・板紙の国内出荷高は、1,950千トﾝ（前年同月比 0.1%増）で、6か月ぶりに、前年実績を上回った。内訳は、紙は1,080千トﾝ（同 1.7%減）で、26か月連続で前年実績を下回り、板紙は870千トﾝ（同 2.5%増）で、4か月連続で、前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、592千トﾝ（同 2.0%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、140千トﾝ（同 1.1%増）と、14か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>5月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,019千箱（前年同月比14.9%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は720千箱（同 3.7%増）と2か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶も553千箱（同 2.8%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は299千箱（同55.5%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが8,363千箱（同 6.9%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>5月の広幅織物の県内生産は、1,203千㎡（前年同月比 1.5%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,146千㎡（同 2.4%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、57千㎡（同20.9%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、33千㎡（同16.4%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>

業 種	産 業 動 向
家 具	<p>5月の全国百貨店での家具販売額は、46億5,330万円（前年同月比16.6%減）と3か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、540億266万円（同6.1%増）と11か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>
小 売 業	<p>5月の県内百貨店の売上高は、昨年より土曜日が一日減少したのに加え、雨の日が多かったことなどにより対前年比5.1%減となった。</p> <p>商品別では、化粧品が同17.7%増と引き続き好調であったが、衣料品の不振は続き、全体的に売上を落とす結果となった。</p> <p>西部地域の専門店では、地域の行事の影響で来店客が少なかったとの声が聞かれた。中部地域の食品スーパーでは、ゴールデンウィーク中は行楽関連商品がけん引したが、その後は節約志向もあって不調となったとの声も聞かれた。</p> <p>5月25日、経済産業省が創意工夫で地域の発展に貢献した商店街を顕彰する「はばたく商店街30選」の発表があり、本県からは沼津市の「沼津あげつち商店街」と浜松市の「ゆりの木通り商店街」が選出された。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>平成28年5月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約65万人で、前年同月比3%減となった。減少した要因としては、GWが飛び石連休となったことで後半（5月3日から8日まで）の観光客が伸び悩んだことなどが考えられる。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約73万台となっており、前年同月に対して2.1%増となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
完成車生産台数(台)	18,771	19,604	17,245	18,593	20,329	22,973	22,614	20,913	16,802
前年同月比(%)	▲7.6	▲22.5	▲21.9	▲14.6	2.7	8.5	4.8	35.0	22.5
KD輸出額(百万円)	794	1,018	724	922	740	719	706	646	535
前年同月比(%)	▲37.3	▲36.8	▲37.1	▲22.8	▲34.4	▲28.8	▲31.5	▲36.7	▲42.9

<楽器>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
生産総額(百万円)	3,696	4,138	3,654	3,667	3,349	3,607	3,821	3,837	3,376
前年同月比(%)	▲4.0	7.6	6.6	5.8	▲1.0	5.5	4.4	▲2.8	▲9.3

<缶詰>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
食缶生産高(千ケース)	910	976	968	882	835	849	1,015	1,023	1,019
前年同月比(%)	4.2	8.1	12.7	16.8	5.7	▲4.5	8.6	11.0	15.0
うち水産缶詰(%)	10.3	6.8	11.2	16.0	3.8	▲0.9	▲1.4	0.6	3.7
農畜産缶詰(%)	▲14.5	12.4	18.1	19.3	11.1	▲13.0	40.9	45.5	55.5
飲料缶生産高(千ケース)	7,133	6,316	6,770	6,466	4,321	5,128	7,176	7,924	8,363
前年同月比(%)	15.6	1.0	▲2.5	▲1.9	▲12.6	▲1.4	2.9	0.4	6.9

<繊維>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
広幅織物(千㎡)	1,348	1,515	1,796	1,749	1,613	1,447	1,462	1,511	1,203
前年同月比(%)	3.7	5.9	13.7	13.9	11.7	▲4.1	▲3.7	▲0.5	▲1.5
小幅織物(千㎡)	39	40	41	39	33	37	37	37	33
前年同月比(%)	▲6.2	5.0	14.4	5.4	▲9.0	▲4.0	▲1.6	▲5.1	▲16.4

<観光>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
観光施設(10施設)入込 (千人)	477	460	394	261	282	261	500	510	654
前年同月比(%)	10.2	28.7	▲1.7	19.4	11.8	7.0	6.9	15.3	▲3.0
有料道路(5路線)通行量 (千台)	692	692	687	701	647	682	760	684	732
前年同月比(%)	2.0	6.6	▲1.4	4.0	3.9	12.5	0.0	5.2	2.1

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・百貨店販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・専門量販店等販売額		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・自動車新規登録台数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・新設住宅着工戸数			
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成28年7月号 通巻483号

発行 静岡県経済産業部
平成28年7月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>